

上海外国语大学 2007 年硕士研究生入学考试

日语语言文学专业 日语综合试题

(考试时间 180 分钟, 满分 150 分, 共 6 页)

一、下線部の漢字の読み方を () に書きなさい。(1×10=10 点)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 倉敷を訪れる () | 2. 用心深い () |
| 3. 目が肥える () | 4. 唯一の楽しみ () |
| 5. 名に相応しい () | 6. 気分が怠い () |
| 7. 逞しい食欲 () | 8. 気を緩める () |
| 9. 時間を費やす () | 10. 首を捻る () |

二、下線部の平仮名を漢字に直しなさい。(1×10=10 点)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 音楽かんしょう () | 2. けっかんあり () |
| 3. みじめな格好 () | 4. 予想がはずれる () |
| 5. はらだたく思う () | 6. ひそかに会う () |
| 7. 願いがかなう () | 8. あやしい人物 () |
| 9. あたみを見物する () | 10. タクシーのびんじょう () |

三、次の外来語を中国語に訳しなさい。(1×5=5 点)

1. マスメディア
2. パソコン
3. デンマーク
4. セルフサービス
5. スタイル

四、次の語句を簡潔に説明しなさい。(2×5=10 点)

1. 声をかける
2. 口が重い
3. 割に合う
4. 愚痴をこぼす
5. 筋道が通る

五、次の文中の () に最もよいものを、A・B・C・D の中から 1 つ選んで、番号で答えなさい。(1×5=5 点)

1. 彼女の作品には、優れた技術に () 若々しさも感じられる。

- A. 通して B. 加えて C. 込めて D. 対して
2. 消息を絶った飛行機は () どこに落ちたのか。
A. さぞ B. 果たして C. たぶん D. やはり
3. 金メダルを期待されていた日本選手だが、マラソンでは () 優勝できなかった。
A. いよいよ B. やっと C. ようやく D. ついに
4. 気候のよい国に住む人々が長命だとは () 言えない。
A. 必ずしも B. 一向に C. さぞかし D. さっぱり
5. 酒をやめようかと思いつながら、() 決断できずにいる。
A. どうてい B. なんとか C. なかなか D. まさか

六、次の文中の () に最もよいものを、A・B・C・Dの中から1つ選んで、番号で答えなさい。(1×5=5点)

1. 今度のコンサートで演奏する曲には高度な技術が要求される。何か月も準備してきたからには、失敗 () と思うか、それでもやはり不安が残る。
A. せずにはいられない B. せざるをえない
C. するかもしれない D. するはずはない
2. 子供の頃、私は父によく「勉強しろ」とか「きちんとあいさつしろ」とか言われた。それに反発していたが、年をとるに () 私も同じことを自分の子供に言うようになってきた。
A. ひきかえ B. そって C. つれて D. しても
3. 彼は夕食前にいつもこの公園を散歩する。どんな天気でもこの日課を変えることはない。晴れた気持ちのよい日は ()、雨の降る寒い日でも同じ道を歩いている。
A. もとより B. もとには C. もとまで D. もとでは
4. 大学を卒業した後どんな職業につくべきか、迷っている。会社員になるか ()、学校の先生になるかだ。
A. それほど B. それでも C. それとも D. それでは
5. 人はいつも勇気をもてという。しかしおくびようではいけないのだろうか。おくびようで ()、用心深くなり、危険を避けることができるのだ。
A. ありえず B. あるがまま C. あればこそ D. あってさえ

七、次の文中の () に最も適切な助詞を、仮名で一字ずつ入れなさい。(1×5=5点)

1. 彼は心臓が悪いくせに、酒も飲め ()、タバコも吸う。
2. 姉はオリンピックで金メダルを取り、妹は妹 ()、初めて書いた小説が芥川賞を受賞した。
3. 生まれ () () () の優れた才能に恵まれている。

- 4、親の援助なくして（ ）、とても一人で生活できない。
 5、雲（ ）突き抜けたと思うまもなく、息子は「遊びに行つて来る！」と叫んで出ていった。

八、次の各文を中国語に訳しなさい。（3×5＝15点）

- 1、毎日忙しい。しかし、だからといって、好きな陶芸をやめるつもりはない。
- 2、遊んでいたらおじいさんが来て、「芝生に入つてはいけないよ」と言った。
- 3、作つてはこわし、作つてはこわし、何度もやりなおして、ようやく満足できるつぼが出来上がった。
- 4、どんなにお金があつても健康でなくては幸せだとは言えない。
- 5、開会を宣告するに先立って、今回の災害の犠牲者に黙祷を捧げたいと思います。

九、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（2×10＝20点）

（一）

若いときは二度ない——と言う。だから、若い時代を大事にせよ、といった意味である。

なるほど、その通りである。だが、皮肉屋のわたしは、このことばに反論したい。たしかに若いときは一度しかないが、中年だって、老年だって一度しかないのである。われわれは若い時代を大事にすべきであるが、同様に中年を大事にすべきであるし、老年を大事にしなければならない。①若い時代だけを特別視する必要はないのである。

わたし自身は先ごろ、五十三歳になった。昔の呼称だと、もう立派な“老年”である。だから、（注1）ひがんで言っているのではない。わたしは、老年には老年のよさがあると思っている。（中略）人生のそれぞれの段階には、それぞれに違った②人生のこくがある。わたしはそう思っている。わたしたちはそれぞれの段階に特有な人生の喜びと悲しみを味わいながら生きたい。

（③）、どうして若い時代だけが特別視されるのか！？わたしには不思議である。思うに、人々は若い時代を準備段階と考えているようだ。若いときにしっかり学問や体験の蓄積をしておかないと、後になって困る。だから、若いうちから（注2）遊びほうけていてはいけない。と、結局は、若者に自制と禁欲を呼びかけているのである。

でも、わたしは、④それはまちがいだと思う。若い時代に、若い時代に特有の人生の喜び・悲しみを（⑤）、中年や老年になって、その段階での人生の喜び・悲しみが味わえない。若者はそのことを（注3）銘記すべきである。

注（1）ひがむ　　：素直でなくなる

（2）遊びほうける：遊びに夢中になる

（3）銘記する　　：忘れないように心に強く残す

問1、①「若い時代だけを特別視する必要はない」とあるが、それはなぜか、答えな

さい。(2点)

問2、②「人生のこく」とは、ここではどのようなことか、答えなさい。(2点)

問3、(③)の中に入る最も適当な言葉はどれか。(2点)

- 1、だからといって
- 2、それどころか
- 3、したがって
- 4、にもかかわらず

問4、④「それはまちがいだと思う」とあるが、何が間違いであると思うのか。(2点)

問5、(⑤)に入る言い方はどれか。(2点)

- 1、体験しておけば
- 2、体験しておかないと
- 3、体験しておいても
- 4、体験しておかなくても

(二)

ぼくの子供のころは、買い物をするにも、定価の決まっていない買い物が多かった。それで、店の人とうまくなじみになって、買い物のやりとりをする要領が大事なことだった。同じものを買うにしても、要領が悪くドジだと、高い値段で買わされてしまう。ふだんからのつきあいだって、買い物のときになって、(①)のだった。

これは、ある意味で、不平等なことであった。同じものを買うのに、相手しだいで値段が変わる。ドジだと、損になる。

いまでは、定価が決まっている。平等に、だれでも同じ値段で、買い物ができる。しかし、ときにはそれが、②ちょっと味気ない気がしないでもない。なによりも、要領を身につけようと、努力することがなくなった。店の人と関係を取り結ぼうと、ふだんから心がけることがなくなった。平等なかわりに、冷たい関係になってしまった。

なんだかドジをして、だんだんと要領を覚えていくものでもあった。その意味では、店の人というのは、要領の先生であった。

値段の交渉をするということは、買い手のほうでも、その値段へ意思を介入することであった。与えられた定価のもとでの、買うか買わないかだけの判断ではない。そして交渉に参加したからには、たとえそれが高い値段であったとしても、それは買い手の責任に属する。つまり、自分の意思で、自分の責任で、値段を判断する余地が残っていたのだ。

このことの逆として、自分で判断し、自分で責任をとる機会は、平等や公平の名のもとに、だんだんと少なくなっているのではないだろうか。さらにそれが、学校などで、公同で買い物をしたりするものだから、ますます自分から③遠くなっているような気がする。

どんなに平等や公正を保証された社会になっても、終局的に自分を守るのは、自分

の判断と自分の責任だ、とぼくは考えている。そして、不平等で不公平だった昔の買物物は、その判断や責任を訓練していたような気もするのだ。

ふだんからの関係に気をくばり、要領よくふるまうのは、ズルイこととされている。それでは、平等で公正にならない。

にもかかわらず、不平等や不公平のなかで要領よくたちまわるズルサ、そのことの意味を、もう一度、考えなおしてみてもよいのではないだろうか。要領を否定した制度は、人間関係を信頼しないことで、平等が強制されているような気もするのだ。

問1、(①)に入れるのに最も適切な言葉はどれか。(2点)

- 1、ものになる
- 2、ものをいう
- 3、ものにする
- 4、ものともしない

問2、②「ちょっと味気ない気がしないでもない」とあるが、どういう理由からか、答えなさい。(2点)

問3、③「遠くなっている」とあるが、何が「遠くなっている」のか、答えなさい。(2点)

問4、筆者は「要領」という言葉を、どういう意味で使っているか。(2点)

- 1、物事の一番大事な点
- 2、本能的に身につけている能力
- 3、物事をうまくやるためのコツ
- 4、苦労や努力をしないでうまくたちまわること

問5、この文章の内容と合わないものはどれか。(2点)

- 1、要領よくたちまわるズルサもわれわれには必要である。
- 2、要領よくたちまわることは人間の信頼関係を壊すことになる。
- 3、どんな世の中でも、自分で判断し自分で責任をとることが、自分を守ることになる。
- 4、平等で公正な世の中で、われわれの人間関係はおもしろみのない冷たいものになってきた。

十、次の各文中には「係り結び」がある。その係助詞と、それを受けることばに——線を引きなさい。(1×3=3点)

例：心なむまさりたりける

- (1) しな、かたちこそ生まれつきたらめ
- (2) 吹きくる風は花の香ぞする
- (3) これもまたいつまでかあらむ

十一、次の文語文を口語文に訳しなさい。(3×2=6点)

- (1) 天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に いでし月かも
 (2) ひさかたの 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ

十二、次の作者について作品の題名を1つずつ書きなさい。(1×4=4点)

- 1、谷崎潤一郎 _____
 2、夏目漱石 _____
 3、島崎藤村 _____
 4、志賀直哉 _____

十三、次の間に答えなさい。(1×3=3点)

- (1) 「明治の新文学」の指針となった、坪内逍遙の評論書の名を書きなさい。
 (2) その評論書ではどんなことを主張しているか。次から一つ選びなさい。
 (ア) 啓蒙主義 (イ) 浪漫主義 (ウ) 象徴主義
 (エ) 写実主義 (オ) 勸善懲悪主義
 (3) その評論書で主張したことを、坪内逍遙自身が実践しようとして書いた作品は、次のうちのどれか。
 (ア) 経国美談 (イ) 当世書生気質 (ウ) 浮雲
 (エ) 西洋道中膝栗毛 (オ) 多情多恨

十四、次のA群に関係するものをB・C群から選んで、番号で答えなさい。

(1.5×6=9点)

A群

- 1、行く川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。
 2、つれづれなるままに、日暮らし、硯にむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、…。
 3、春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

B群

- a 清少納言
 b 吉田兼好
 c 鴨長明

C群

- ア 枕草子
 イ 方丈記
 ウ 徒然草

十五、「私の失敗談」をテーマに作文を書きなさい。(250～300字)(15点)

十六、次の作文のテーマで、400～500字の文章を書きなさい。(25点)

将来なりたい職業